

第17回高知大学看護学会報告

第17回高知大学看護学会は、「コロナ禍における医療従事者のメンタルヘルス」をメインテーマとして、令和4年11月12日（土）に開催いたしました。講演は、公立大学法人福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座 准教授 瀬藤乃理子先生に「コロナ禍における医療従事者のメンタルヘルス ～心と体の健康を保ち続けるために～」についてお話しいただきました。瀬藤先生は、1995年の阪神淡路大震災では神戸で自ら被災しながらも現地の災害支援・災害研究に関わり、大学で教員を11年務めた後、4年前に福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座准教授に着任されています。現在は、東日本大震災の沿岸部の被災地域の心理的支援・危機介入などに従事しているほか、2020年からは福島県の災害対策本部と協力し、COVID-19の陽性者・医療従事者への支援などの活動をされています。

COVID-19の感染症の蔓延が始まり4年弱となり、人々は感染対策を優先する生活を強いられ、行動の変化に対しストレスの多い生活や不安な日々を送ってきました。COVID-19の対応する医療従事者は、先行きの見えない不透明な状況の中で、日々感染への恐怖や緊張感、疲弊感だけでなく、医療者や家族にまで向けられる根拠のない偏見・差別に向き合いながら業務にあたっています。また、医療従事者だけでなく、看護学生も生活環境の変化やそれに伴う不確かさや無力感などのストレスや心身の健康状態の変化が問題となっています。多くのメンタルヘルスの問題を一度に解決することは困難ですが、ストレスへの対処法や回復する方法について共有され、支援を考える機会になり、貴重な学びとなりました。

会期および開催方法：令和4年11月12日（土）、Web開催

【 プログラム 】（敬称略）

9：00～ 研究発表（示説）

9：50～ 開会

学会長挨拶：大坂 京子（高知大学医学部看護学科長）

特別講演講師紹介

10：00～ 講演 講師：瀬藤 乃理子先生

（公立大学法人福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座 准教授）

演題 「コロナ禍における医療従事者のメンタルヘルス ～心と体の健康を保ち続けるために～」

座長：佐藤 美樹（高知大学医学部看護学科准教授）

11：30～ 理事会

12：10～ 総会

13：00 閉会